

ながの環境パートナーシップ会議  
第 5 回 幹事会 会議記録

日 時 平成 22 年 2 月 23 日 (火) 18 時 10 分から 19 時 40 分

場 所 会議室 6 (市役所第二庁舎 4 階)

出席幹事 14 人

(高木、塚田、弓場、佐々木、高野、田中(昭)、田中(守)、傳田、橋本、堀池、水野、峯村、山口、渡辺)

欠席幹事 2 人

(河西、錦織)

会議内容

- 1 プロジェクトチーム(以下、「PT」)の活動状況と今後の活動について
  - ・学校版環境マネジメントシステム導入(以下、「学校版EMS」)PT  
ながの学校版EMS認定校に対し、平成 21 年度PT予算の範囲内で、褒賞品(金)を授与したい。  
承認
- 2 規程の整備について
  - (1) 事務局に関する規程(事務局規程)  
第 5 条第 1 項第 4 号「その他軽易な事項」を「その他必要な事項」に修正のうえ承認  
平成 22 年 2 月 23 日から施行
  - (2) 旅費に関する規程  
原案承認。平成 22 年 2 月 23 日から施行
  - (3) その他必要な規程
- 3 新規プロジェクトの募集について  
原案承認。担当幹事を中心にワークショップの準備を進める。
- 4 平成 21 年度活動報告、平成 22 年度活動計画、予算等について  
各PTで平成 21 年度活動報告、平成 22 年度活動計画、予算等について検討してほしい。(事務局への提出は、3月下旬～4月頃の予定)
- 5 長野市環境審議会委員の推薦について  
太陽エネルギー普及促進PTサブリーダー 本道 氏を推薦する。

今後の日程等

- 1 正副代表幹事会

- (1) 日時・場所

3 月 17 日 (水) 18:00 ~ 会議室 6 (市役所第二庁舎 4 階)

(2) 内容～第6回幹事会について

2 第6回幹事会

(1) 日時・場所(案)

**3月24日(水) 18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)**

~~3月25日(木) 18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)~~

~~3月26日(金) 18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)~~

~~3月29日(月) 18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)~~

(2) 内容～新規プロジェクトについて、組織について、会員について

3 第7回幹事会(4月(中～下旬)、内容～次年度計画についてほか)

4 第8回幹事会(5月(中～下旬)、内容～総会についてほか)

5 第9回幹事会・総会(6月、内容～総会についてほか)

6 総会

(1) 日時(案)

**6月5日(土) 午前**

~~6月6日(日) 午前~~

**6月12日(土) 午前**

~~6月13日(日) 午前~~

(2) 場所：ふれあい福祉センター、市民会館集会室、若里市民文化ホール等

(3) 内容：平成21年度決算・事業報告、平成22年度事業計画・予算、役員の選出ほか

その他

(1) 環境関連イベント等

信州大学自然環境診断マイスター「信州の自然 - 恵みと危うさ」

(公開特別講演とマイスター報告)

日時：2/27(土) 9:00～18:00、場所：松本市安原地区公民館2階講義室

参加費：無料

戸隠高原雪上観察会(問：戸隠森林植物園ボランティアの会、 :224-0495)

日時：3/21(日) 9:30～14:00、場所：戸隠牧場周辺(駐車場入口集合)

参加費：一般200円、小中学生100円、持ち物：スノーシュー、昼食ほか

主な質疑

学校版EMSP T

・昨日認定委員会を開催し、青木島小学校、七二会中学校を認定することになった。

ながの学校版EMSの認定に当たっては、学校の負担がかなり大きい。このことが、取組みが進まない原因の一つになっている。

ながの学校版EMS認定校に対し、何らかのインセンティブを与え、取組む学校を増やしたい。平成21年度PT予算の範囲内で、褒賞品(金)を授与したい。具体的な褒賞品(金)の内容は、今後PTミーティング等で協議する。

異議はない。ただ、メリットがないと取組まないというのは寂しい。学校版EMSは、子供たちに自発的に取組んでほしいもの。教育委員会等も巻きこんで、子供たちが取組みやすいシステムとしてほしい。

・近年学校予算が減少している。使い道を限定する必要があるのではないか。

PTミーティング等で協議する。

#### 事務局規程

・第3条に「事務を処理する」とあるので、第5条は、不要なのではないか。また、第5条各号のように内容が示されていると、このこと以外はやらないということにならないか。（傳田幹事<sup>1</sup>）

第5条は、事務局が行う事務を例示したもの。

第4号「その他軽易な事項」を「その他必要な事項」に修正してはどうか。

例えば、案の中に「事業の企画・立案」という事項は、幹事会やPTが行うことなので含まれていない。案のように具体的に例示しておくことも必要なのではないか。

「企画・立案に係る事務」を行うのも事務局の役割ではないか。（傳田幹事）

「企画・立案に係る事務」というものがあるのであれば、具体例を出し、別途協議してほしい。

そもそも、環境政策課は、長野市環境基本条例第20条により事務局を担っている<sup>2</sup>。

「その他必要な事項」ということすら必要ないのではないか。（傳田幹事）

第5条を削除、第5条第1項第4号「その他軽易な事項」を「その他必要な事項」に修正、原案通りで採決

第4号「その他軽易な事項」を「その他必要な事項」に修正し、その他は原案通りとする。平成22年2月23日から施行する。

#### 旅費に関する規程

・生ごみ削減PTのミーティングに前回の幹事会の内容を報告した。「宿泊料<sup>3</sup>の10,000円は高い。10,000円あれば、宿泊料を払った後宴会ができる」という意見が大半であった。「視察は、年末に忘年会を兼ねて...<sup>4</sup>」という話まで出た。（傳田幹事）

宿泊料及び1キロメートル当たりの単価は、前回採決した事項。再び協議したいということか。

生ごみ削減PTメンバーの感想を述べたもの。（傳田幹事）

意見提案等なければ採決する。

原案通り採決

1 傳田幹事から、名前入りで会議録に残すよう依頼があったので、発言者名を記載しています。以下同じ。

2 条例の内容は、「第20条 市は、環境施策について総合的な調整を行い、及び計画的に推進するために必要な体制を整備するものとする。」「第20条の2 市は、市、市民及び事業者が環境の保全及び創造のための活動を協働の下に推進するため、必要な措置を講ずるものとする。」

3 宿泊料は、講演会等の講師招聘の場合等を想定し、公務員の旅費額等を参考に、実費支給による事務手続きの煩雑化等を考慮した上で第4回幹事会で採決されたものです。

4 旅行に当たっては、予め幹事会の承認が必要になります。幹事会では、必要最少限の予算・人員等で最大の効果という観点から判断することになります。

・施行日は、何時にするのか。また、会議旅費は、今日の幹事会から支給するということが。

本日から施行としたい。小委員会及び幹事会に係る会議旅費は、これまでの慣例の通りである。

P Tミーティング時に 500 円出すということでよいか。（傳田幹事）

案にそのような規定はないし、どう解釈してもそのようにはならない。

会議旅費は、幹事会と代表幹事が認めるものに限られる。文面通り読んでほしい。

#### 新規プロジェクトの募集について

・ 1 月 22 日に担当幹事で協議した結果である。当初は、市の「まちづくり活動支援事業補助金」や県の「元気づくり支援金」のように、様式を用意し、書類審査、プレゼンの上採択という形を想定していたが、最終的には、資料のとおりである。

プロジェクトは、長期的視点に立ち計画をたてて進めるべきものではないか。

短期でイベント的に進めるものではない。

P 会議幹事として、CO2 削減目標が達成できそうにないことをどのように考えているのか。CO2 の削減は、6 ヶ月程度のイベントでは解決できない。キチツとしたプロジェクトである必要がある。（傳田幹事）

提案は、一向に増えない会員数を増やしながらか、様々な活動を展開していきたいという内容に思われるが、担当幹事からも説明してもらえないか。

今の P 会議の P T を見ると、衰退していく一方に思われる。

その原因の一つは、新たなメンバーが増えないことにあると思う。

この案の目的の一つが、新たなメンバーによる P 会議の活性化である。

始めからハードルを高く設定すると、新たなメンバーは入りづらい。「短期（6 ヶ月程度）で成果」という表現が適当かどうかは分からない。また、長期的な目標を持ったとしてもマイルストーンとして 6 ヶ月程度で成果を確認することは必要なことである。

P 会議の立上げ時は、このような形であった。当時は、環境に関心を持つ市民が集まり、市職員等と同じテーブルに付いて、これからの環境保全活動等について議論した。今回の提案は、全てをワークショップの中で行うというものではない。

例えば、既に何らかの環境保全活動を行っている団体や案を持っている者等に広く参加を呼びかけ、当日予定している幹事会に提案してほしいと思っている。

P 会議立上げ時のメンバーが、その後の活動の原動力となった。有効な方法だと思う。ただし、ワークショップを年 2 回開催するとなると、既存プロジェクトの推進に支障がでる恐れがある。

新規プロジェクトの中には、既存プロジェクトと類似したものが出てくる可能性がある。その場合、上手く調整できるようにしておかなければならない。そうしないと、予算の取合い等になる懸念がある。

類似した内容であれば、一緒に活動しても良いし、並行して活動してもよい。既存 P T には、並行して活動すること等を受入れることも必要である。

実際は、ワークショップをやってみないとどうなるか分からないが、是非やってほしい。

・「新規プロジェクトの募集について」とあるが、この表題と内容だと新規プロジェクトは、ワークショップで作っていくというように捉えられる。ワークショップは、新規プロジェクトを産出す方法の一つではないのか。

会員に提案する際は、表題を変える必要がある。

短期的なものは、起爆剤のような効果を持つ。そういったものを掘起こすには、おもしろいと思う。

2 デメリット に、「新規プロジェクトを提案できる機会が限られる」とあるように、今回は、この方法のみと考えていた。

これまでの手法で新規プロジェクトを立ち上げようとしても、実際上手くいっていない。この方法であれば、上手くいくように思われるが...

結果はどうであれ、やる価値はあると思う。

今回の提案では、新規プロジェクトは「短期優先」と捉えられてしまう。

ワークショップによるものは、方法の一つとしてはとても良いが、他にも方法があることを示しておく必要がある。

実際のワークショップでは、ファシリテーターの力量も問われるが、優先順位的なものは伏せておいた方がよいと思う。

P会議では、これまで短期のイベントのようなものに積極的ではなかった。取組みが広がるのは良いことだと思う。

このようなことをきっかけに、多くの人に関心を持ってもらうということであれば理解できる。

「新規プロジェクト」ということだから、ビジョンは？サブビジョンは？と聞きたくなる。「イベント」ということであれば問題ない。(傳田幹事)

「プロジェクト」と「イベント」の何が違うのか。ここで言葉の定義について議論するつもりはないが、「短期プロジェクト」ということもあり得る。

新規プロジェクトの採否は、幹事が決定することになる。先の見通しが無いようなもの、環境保全につながらないようなものであれば、否決や修正を求めればよい。

P会議の目的に沿っていることが大前提となる。

P会議のメンバーには、男性が多く、また若者が少ない。これを機に、女性や若者に関心をもってもらえるようにしたい。

選考の基準に「楽しくなるもの」があるのは良いことだと思う。

環境保全には、「貧乏くさい」「我慢」としたイメージがあるが、このままでは取組みが広がらない。「環境保全活動=楽しいもの」というようなメッセージを発信したい。

・案は、学生をターゲットにしているが、平成 21 年度の地域環境演習の受講者は誰もいなかった。ワークショップに学生が来なかったら、とてもP会議の活性化とはならないのではないのか。

多くの学生を集めることと市民を集めることを考える必要がある。

P会議の立上げ時は、140~150人の市民が集まった。それを再現できないか。

当時は、環境保全について考える場、活動を行う場が他に無かった。

当時は、斬新なものでもあり、市が積極的に関与した。人数が多すぎたため、選考まで行った。

選考で落とされた者が、NPO等を設立し活動している。そういった人達にも声をかけてはどうか。

活動をしている団体が、例え予算目当てであったとしても、P会議の活動に加わってもらえればありがたい。

広報を考え直す必要がある。

かなりタイトなスケジュールとなっている。今回出された意見により修正案を次回幹事会で協議...という時間はない。担当幹事を中心に準備を進める必要がある。

回数は、年1回で十分のような気が....

原案承認。担当幹事を中心にワークショップの準備を進める。

平成 21 年度活動報告、平成 22 年度活動計画、予算等について

- ・各PTで平成 21 年度活動報告、平成 22 年度活動計画、予算等について検討してほしい。
  - ・活動報告書は、「活動実績」「成果・課題」欄を記入してほしい。「活動実績」欄は、1月の幹事会までに提出があった活動記録票分までは入力してある。
  - ・活動成果発表用のPPT等の準備をしてほしい。発表は、6月の総会。
  - ・活動計画は、「活動計画」欄を記入してほしい。
  - ・平成 22 年度予算要求の様式は、平成 21 年度と同じもの。参考として、平成 20 年度予算・決算、平成 21 年度予算、平成 22 年 2 月 16 日現在の執行済額等の表を添付した。
  - ・事務局への提出は、昨年と同様に、3月下旬～4月頃の予定でお願いしたい。
  - ・アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2007 年度版プロジェクト（平成 19 年 6 月）で設定した数値目標年次（平成 22 年度）を迎えるにあたり、行動計画、目標等を見直すアジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2010（仮称）を策定してほしい。
  - ・スケジュールは、資料のとおり。
- 提出物が多いので、提出物一覧表のようなものを作ってほしい。

長野市環境審議会委員の推薦について

太陽エネルギー普及促進PTサブリーダー 本道 氏を推薦する。